



環境と共生

平成 24 年 1 月 16 日発行 第 24 号

発行：環境 21 世紀の会 編集：事務局 有村親雄

住所：〒277-0042 柏市逆井 4-9-5 TEL：04-7174-2135

ホームページ <http://members3.jcom.home.ne.jp/kankyo21c/>

汚染焼却灰の自区内処理

「自区内処理」の原則

国の内外を問わず、廃棄物の処理はできうるかぎりその排出地域に近いところで行うという、「自区内処理」の原則は、社会的合意となっています。わが国では、一般廃棄物の処理が市町村の責務とされていることから、一般には、一般廃棄物の処理は市町村の行政区域内で完結させる、という意味で使用されます。

「自区内処理原則」という言葉は、もともと、昭和 40 年代後半に、東京都の、いわゆるゴミ戦争を收拾する方策を検討するなかで編み出された造語であり、中間処理（焼却処分）およびその施設の建設に伴う負担を文字どおり、23「区」の間で公平に分担し、そのために、各区が相応に焼却施設などの建設を受け入れていくべきである、という方針を意味するものでありました。当時、清掃工場がなく、中野区や杉並区では、江東区の「夢の島」でゴミを埋め立てていました。その後、「自区内処理原則」に基づき、各区で可燃ゴミを焼却できる清掃工場が建設されました。

焼却灰の埋立て

政府は、昨年 6 月、放射性廃棄物について、焼却が可能なものは焼却して減量した上で、汚泥や焼却灰等に含まれる放射性セシウム濃度が 8,000 ベクレル/kg 以下のものについては、一般廃棄物最終処分場（管理型最終処分場）における埋立て処理（最終処分）とすることを認めていました。

さらに環境省は、8 月 31 日、「8,000 ベクレル/kg を超え、10 万ベクレル/kg 以下の焼却灰等の処分方法に関する方針」を定め、8,000 ベクレル/kg を超え、10 万ベクレル/kg 以下の焼却灰等についても、一定の条件の下で一般廃棄物最終処分場（管理型最終処分場）において埋立て処理（最終処分）することを認めました。

汚染焼却灰の処理

南部クリーンセンターでは、8,000 ベクレル/kg を超える焼却灰の搬出先が見つかっていません。とりあえず、ドラム缶で196 トン保管していますが、満杯の状況です。別に北部クリーンセンターに180 トン保管しています。

他の自治体が嫌がるものを引き取ってもらうようお願いするわけにはいきません。一般廃棄物の自区内処理の原則に従って、自ら解決する必要があります。汚染焼却灰をセメントで固めるほか、管理型最終処分場で地下水の汚染防止を図るなど追加の対応を必要としています。追加処理をするとコストはかかりますが、国の助成を受けて行なうべきです。

震災がれきの受入れと第二清掃工場の稼働

昨年3月11日に発生した東日本大震災は各地に大きな傷痕を残しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の早期の復興を願っています。この地震の後に発生した東京電力・福島第一原発の爆発と放射の漏れ事故は、地震から10ヶ月以上経過していますが、収束の目途は立っていません。

環境省の資料によれば、東日本大震災の際に発生した東北3県のがれき推計量は、約2,260万トン（岩手県約440万トン、宮城県約1,590万トン、福島県約230万トン）です。東京都は、岩手県宮古市（がれき量86万トン）から震災がれきを昨年の11月に受入れ始め、11月中に千トン、3月までに1万1千トンを受入れ予定で、平成25年度までに宮城県分も含め50万トン进行处理する計画です。

柏市は南部クリーンセンターの運転を1月5日に停止したと発表しました。南部クリーンセンターでは、埋立て処分可能な8,000 ベクレル/kg という国の基準を超えた焼却灰を196 トン保管しています。ドラム缶に詰めて通路や空きスペースに置かれていますが満杯になりました。昨年9月にも約2ヶ月停止していました。当面は、市内のすべての可燃ごみは北部クリーンセンターで処理しますが、柏市によると、焼却方式が南部クリーンセンターと異なるため、8,000 ベクレル/kg を超える高濃度の焼却灰は出ないと言っています。北部クリーンセンターをフル稼働させるために、市内のゴミ収集に支障はないとしています。南部クリーンセンターの焼却灰は、最高値の78,000 ベクレル/kg を除けば、29,100～66,100 ベクレル/kg で推移しています。

柏の可燃ごみの焼却能力は、北部クリーンセンターが300 トン/日（100 トン/日×3基）、南部クリーンセンターが250 トン/日（125 トン/日×2基）です。南部のクリー

ンセンターを運休しても何ら解決できません。岩手県や宮城県の震災がれきを受け入れて、柏市の可燃ごみを1割程度混合して焼却すれば、埋立て処分可能な8,000ベクレル/kg以下の焼却灰に抑えることが出来ます。例えば、南部のクリーンセンターで1炉運転しますと、年間で約4万トンの震災がれきと4千トンの可燃ごみを処理することが出来ます。まさに一石二鳥です。

以上

環境21世紀の会の事業

各種調査研究、政策の提言、行政への請願、各種申入れ広報活動及び講演会の実施、共通する他団体との協調・連携を事業とし、環境との共生を考え、活動しているボランティア団体です。

環境21世紀の会会員募集

ひっばくする環境問題、生活者の側からどう捉え、どう考え、どう実行に移すかが問われています。会員を募集しています。

申込み等は事務局（〒277-0042 柏市逆井4-9-5、有村親雄 TEL:04-7174-2135）に問合せ下さい。